

事業番号	09 02 01	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	農畜産物のブランド化と販路拡大推進事業	部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室	
		実施期間	H25 ～	E-mail	marketing @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・令和 5 年産の県産農畜産物輸出額は24.8億円(前年比123%)と順調に伸びていることから、この傾向を維持・拡大させるためには経済成長を続ける海外市場で稼ぐ更なる取組が必要。

・高品質で安全な農畜産物が求められていることから、輸出先国のニーズや検疫条件に対応できる産地形成が必要。

・コロナ禍を経て消費行動も大きく変化していることから、信州ならではの食の魅力や価値を「おいしい信州フード」として県内外へ発信する取組の充実・強化が必要。

2 事業目的

・海外ニーズに対応した輸出向け農畜産物の生産が行われ、県産農畜産物の輸出が重要な販売チャネルの 1 つになるよう、既存の商流の維持・拡大に加え、新たな生産者の掘り起こしや市場開拓を図る。

・信州ならではの食の価値や魅力が県内外で幅広く認知されるよう、生産者団体や流通業界との連携を強化し、県産農畜産物のブランド力向上や、販売促進を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①輸出向け産地づくりの推進

・輸出産地の形成・拡大を進めるため、生産者等が行う輸出先国の調査やプロモーション、大規模輸出に向けた生産・流通体系の転換に係る経費を支援

・輸出先国の規制に対応するため、必要な施設整備に係る経費を支援

②県産農畜産物の海外への販路拡大

・県産農畜産物の輸出拡大を戦略的に進めるため、競争力の高い「ぶどう」「コメ」「花き」を重点品目として位置付け、重点輸出先国・地域に焦点を当てた販売促進活動を展開

・輸出に意欲的な生産者や事業者の活動を支援するため、長野県農産物等輸出事業者協議会との連携を強化し、販売促進活動や情報発信を実施

③「おいしい信州フード」の魅力発信

・県産農畜産物を県内外に広くPRするため、啓発資材やホームページによる情報発信を強化

・「信州プレミアム牛肉」の認知度向上や消費拡大のため、販売促進資材の作成や消費の多い関西地域等での販売促進フェア等を実施

・主要品目である県産果物等の周知・販路拡大のため、生産者団体等との連携による卸売業者や実需者へのトップセールスを実施

・物価高騰により飼料価格の高止まりが続く県内の肉牛・養豚農家の経営を下支えするため、食肉関係事業者や県内事業者等と連携した販売店における試食販売促進活動等、消費拡大の取組を実施

④長野県産米確保・流通対策

・県内におけるコメの安定確保及び円滑な流通並びに地産地消のさらなる拡大を図るため、「長野県産米生産・流通・消費等検討会議」を設置し、関係者とともに県産米の生産・流通・販売・消費に関する課題把握や解決方法の検討を実施する。

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
① ②	県産ぶどう輸出額	百万円	1,280	1,340	↗	1,194	↘	1,400	未達成	総合5か年計画の達成目標である県産農畜産物の輸出額のうち、大部分を占める主要な輸出品目がぶどうであり、海外販路を通じた継続的・安定的な輸出拡大状況を把握するため目標値に設定。
③	おいしい信州フード関連HP閲覧数	千回	920	971	↗	940	↘	1,055	未達成	第4期長野県食と農業農村振興計画で県産農畜産物の情報発信を強化するとしており、県産農畜産物の魅力発信による啓発効果を把握するため、ホームページ閲覧数を目標値に設定。

5 本事業が貢献する総合 5 年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近 3 年間の状況						目標	
				年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上	☆県産農畜産物の輸出額	億円	2023 (R5)	24.8	2024 (R6)	25.8	2025 (R7)	24.9	2027 (R9)	28.0

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計			
				(予算現額)	うち一般財源		
R7年度	6,692	95,340	△ 46,884	55,148	19,809	40,223	5.0
R6年度	0	97,509	△ 51,971	45,538	20,075	36,639	5.0
R5年度	0	98,264	△ 60,291	37,973	22,481	36,668	5.0

事業番号	09 02 01	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）	☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	■点検
事業名	農畜産物のブランド化と販路拡大推進事業		部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室

7 主な取組実績と成果

①輸出向け産地づくりの推進

- ・県産青果物の新規販路開拓や耕作放棄地活用による産地面積拡大等、マーケットニーズに対応した輸出向け産地づくりの取組を支援（2事業者）
- ・タイ向け青果物の輸入規制に対応するため、選果こん包施設の衛生証明取得（10施設）及び残留農薬分析実施（10検体）の取組支援

②県産農畜産物の海外への販路拡大

- ・本県の強みを活かした輸出拡大を戦略的に進めるため「NAGANO農産物輸出拡大事業」を展開。重点品目を競争力の高い「ぶどう」「コメ」「花き」と位置付け、ぶどうについては香港及びシンガポール、コメについては台湾及びアメリカ（ハワイ州）を対象に現地百貨店等で販売促進活動や実需者・消費者等への認知度調査、SNS等を活用した魅力発信の取組を実施。花きについてはアメリカを対象にバイヤー産地招へいを実施

■ぶどう：R7.9月 販路の更なる拡大を見据え、香港現地日系小売店のバイヤーを産地招へい

R7.10月～11月 香港バイヤーと連携し現地日系小売店等3店舗で1週間ずつ県産ぶどうフェアを開催

R7.9月～10月 シンガポール現地日系小売店5店舗にて県産ぶどうフェアを開催

■コメ：R7.12月 ハワイ州ハワイ島の現地系小売店1店舗にて、ローカル市場の開拓に向け、県産米フェアを開催

R8.1月～2月 台湾桃園市の現地大型小売店1店舗にて、体験イベントを取り入れた県産米フェアを開催（フェアの実施に合わせて生産者が渡航し、県産米の魅力を現地消費者へ直接PR）

■花き：R7.10月 アメリカの現地バイヤーを産地招へい

これによりフェア期間中、ぶどう販売実績約2,727千円、コメの販売実績1,920kg（台湾及びアメリカ合計）を達成し、輸出額の増加や新規販路開拓に大きく貢献

また花きについては多種多様な県産花きの海外認知度強化が図られた

- ・長野県農産物等輸出事業者協議会による現地での長野フェア開催（6回）海外バイヤー招へい活動の実施（2回）、海外市場調査の実施（4回）を通して県内生産者等の海外販路拡大活動を支援

③「おいしい信州ふーど」の魅力発信

- ・旬のトピックや地域のイベント情報を「おいしい信州ふーど」ネットを活用し情報発信（14回）
- ・県内外の事業者へ「おいしい信州ふーど」のロゴやPR写真を提供し、民間企業等による県産農産物のPRを促進（ロゴ・デザイン5件、写真67件）
- ・県産食材をまとめた冊子「おいしい信州ふーど魅力発見ガイド」を、部局を超えて活用し、県産農産物のPRを実施（県主催の会議、研修会、おいしい信州ふーど発掘商談会等）
- ・「信州プレミアム牛肉」の認知度向上や消費拡大のため、販促資材の作成や県内及び関西地域でのフェアを開催（1回）
- ・生産者団体と連携した卸売業者や実需者へのトップセールスを実施（1回）
- ・県産食肉の消費拡大の取組については、効果的な情報発信や販売促進活動の実施計画策定が必要であり、年度内に事業を完了することができなかったためR8年度に繰越

④長野県産米確保・流通対策

- ・生産・流通・販売・消費の各段階に携わる関係者を構成員とした「長野県産米生産・流通・消費等検討会議」を開催（4回）
- ・検討会議として、「長野県産米の安定生産・供給と適正な価格形成に向けた共同宣言」を決議・採択するとともに、その実現に向けて各構成員が取り組む内容を「私のアクション宣言」として表明

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ②	県産ぶどう輸出額	R6年度推移	↗	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
輸出重点国に焦点を当てた、バイヤー産地招へい、トップセールスなどを含むによる戦略的かつ集中的なプロモーション活動を実施するとともにSNS等を活用した情報発信による認知度向上に取り組んだ。また、長野県農産物等輸出事業者協議会が主催する長野フェア等を実施した。一方で、記録的な猛暑による品質・収量の低下や安価な外国産ぶどうとの価格競争の激化の影響を受け目標の輸出額は未達となった。							
指標 ③	おいしい信州ふーど関連HP閲覧数	R6年度推移	↗	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
広報の充実を図るため、おいしい信州ふーどネット等への記事の掲載、コンテンツの充実等を行ったもののHP閲覧数は伸び悩み、目標は未達成であった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・令和7年度の県産農畜産物の輸出額は、品質の高さが評価されていることや、輸出先国の流通事業者やバイヤー等と連携したプロモーション活動、各国・地域の輸入規制への適切な対応を継続したことにより、前年比でやや減少したものの、堅調に推移している。引き続き重点輸出国に対する集中的なプロモーション活動及び長野県農産物等輸出事業者協議会と連携した長野フェア等を戦略的に実施し、令和9年度の輸出額目標達成に向けて邁進していく。
- ・本県の高品質なぶどう、コメ等は、台湾等海外の高所得者層から高く評価されており、国内需要の動向を見ながら今後もこの商流を維持・拡大していくことが必要。
- ・物価高騰の継続等による影響が危惧されることから、国内の需給バランス等を見極めながら、コメ、野菜、果実、食肉など県産農畜産物のすばらしさを総合的に発信し、消費者に県産農畜産物のおいしさや価値などの魅力が広く認知される必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・令和８年度以降も引き続き、県産農畜産物の輸出拡大を図り、本県の強みを生かした戦略的な輸出拡大を進めるため、「ぶどう（クイーンルージュ®等）」「コム」「花き」を重点品目と定め、ターゲット国を明確にした集中的な販売促進活動や情報発信活動を展開する。併せて、規制の厳しいタイなどネクスト輸出先国に関する市場調査も視野に入れるほか、輸出米の産地化等を通じ、海外ニーズに対する供給力の強化を図る。
- ・令和８年度は、ホームページへの記事掲載の充実に加え、クローズした「おいしい信州ふード」キャンペーンのHPのうち、直売所マップ機能の統合を行うとともに、新たにコメの情報プラットフォームの構築などコンテンツの充実を図る。

事業番号	09 02 01	細事業一覧（令和7年度実施事業分）	☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	農畜産物のブランド化と販路拡大推進事業		部局	農政部	課・室	農産物マーケティング室

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	輸出向け産地づくり推進事業		7,907 千円	8,575 千円	12,611 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	大規模輸出産地モデル形成等支援事業	補助金	生産者等が行う輸出先での販売促進活動や大ロット輸出に向けた生産・流通体系の転換等に係る経費を支援（農林水産省選定団体からの雑入）		
			補助事業者数：2事業者、補助総額：12,611千円		
2	輸出向けHACCP等対応施設整備事業	補助金	輸出先国の規制に対応した製造設備の整備等を支援（国庫補助） （HACCP：Hazard Analysis and Critical Control Pointの略、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法）		
			補助想定件数：0件、補助総額：0千円		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	「NAGANOの食」輸出拡大事業		27,325 千円	26,173 千円	25,293 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県農産物等輸出事業者協議会への負担金	負担金	輸出に意欲的な生産者と事業者等で構成する長野県農産物等輸出事業者協議会の活動を支援 輸出支援員の設置数：3名、海外フェア開催数：6回		
2	県産農産物海外販売力強化事業	委託	ネクスト輸出先国開拓に向け、海外市場における県産青果物の現地小売店等での販売促進活動を実施 フェア実施店舗：5店舗		
3	NAGANO農産物輸出拡大事業	委託	「ぶどう」「コメ」「花き」を重点品目として、香港・アメリカ（ハワイ州、本土）・台湾等をターゲット委託に流通事業者と連携した販売促進活動を展開 フェア実施店舗：5店舗		

細事業 No.	細事業名	R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	「おいしい信州ふーど」の魅力発信事業	1,187 千円	1,632 千円	1,650 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	「おいしい信州ふーど」の魅力発信事業	直接 委託	・啓発資材や専用ホームページによる情報発信 ・「信州プレミアム牛肉」の販促資材を作成し、関西地域等でのフェアを実施 ・生産者団体と連携した卸売業者や実需者へのトップセールスを実施 ・物価高騰により飼料価格の高止まりが続く県内の肉牛・養豚農家の経営を下支えするため、食肉関係事業者や県内観光事業者等と連携した販売店における試食販売促進活動等、消費拡大の取組を実施 新規SHOP登録店舗数：8店舗、フェア参加店舗数：38店舗、トップセールス：1回、試食活動店舗数：23店舗	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	卸売市場等対策事業		249 千円	259 千円	669 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	卸売市場流通対策事業	直接	卸売市場法に基づく地方卸売市場の認定及び指導監督		
			地方卸売市場認定数：11市場、立ち入り検査実施：1か所		
2	長野県産米確保・流通等検討会議 運営事業	直接	生産・流通・販売・消費の各段階に携わる関係者を構成員とした「長野県産米生 産・流通・消費等検討会議」の開催		
			会議開催数：4回		